

第九十回帝國議會
衆議院

會計法戰時特例廢止等に關する法律案委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
改定豫算に關する法律案(政府提出)
法人に對する政府の財政援助の制限
に關する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月八日(木曜日)午前十
時五十七分開議

出席委員

委員長 坂東幸太郎君

理事青木 孝義君 理事島田 哲作君

田中 實司君 太田秋之助君

北村德太郎君 新妻 イト君

松本 七郎君 東 隆君

松本 龍藏君 竹谷源太郎君

七月三十一日委員伊藤恭一君辭任ニ付
其ノ補闕トシテ櫻澤豐雄君ヲ議長ニ於
テ選定シタ

七月三十日法人に對する政府の財政援
助の制限に關する法律案(政府提出)ノ
審査ヲ本委員ニ付託サレタ

出席國務大臣

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

大藏事務官 河野 一之君

大藏事務官 石原 周夫君

本日ノ會議ニ付シタ議案

改定豫算に關する法律案(政府提出)
法人に對する政府の財政援助の制限
に關する法律案(政府提出)

○坂東委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、本日ノ本委員會ノ議事ノ順序ヲ申
上ゲマス、劈頭ニ去ル三十日本會議
ニ於テ政府カラ提出サレマシタ議案、
即チ法人に對する政府の財政援助の制
限に關する法律案ノ説明ヲ願ヒマス、

其ノ次ニハ、以前ノ續キノ改定豫算に
關する法律案ノ質疑ヲ續行シマシテ、
是ハ豫定ハ大體質疑ヲ今日デ終了サレ
マセウ、サウシテ先ニ申シマシタ法律
案ノ説明ヲ聞キマシテ、ソレデ今日ハ
散會シマシテ、明後日開キタイト云フ
順序ニナリマス、ソレデハ政府ノ説明
ヲ願ヒマス

○石橋國務大臣 會社其ノ他ノ法人ニ
對スル政府ノ財政援助ノ制限ニ關スル
法律案、是ノ提出ノ理由ニ付キマシテ
ハ、曩ニ本會議デ一應申上ゲマシタ通
リデゴザイマスガ、尙ホ本委員會ニ付
託ニ相成リマシタ機會ニ、其ノ理由ヲ
重ネテ御説明申上ゲタイト思ヒマス

從來政府ハ特殊會社等ニ對シマシテ
ハ、法令或ハ豫算外國庫ノ負擔トナル
ベキ契約ニ關スル件ニ基キマシテ、政
府ノ出資ニ對シテハ、特殊條件ニ依ル
利益又ハ剩餘金ノ配當又ハ分配ヲ認
メ或ハ一定ノ利益配當ヲ可能ナラシ
メル爲ノ配當補給金ヲ交付シ、或ハ社
債ニ對シテ政府ガ其ノ元利金ノ支拂ヲ
保障スル等、各種ノ積極的財政援助ヲ
講ジマシテ、其ノ經營收支ニ對スル援
助、或ハ資金ノ獲得ニ對スル保護ヲ致
シマシテ、以テ政府政策ノ圓滑ナル遂
行ヲ圖ツテ參ツタ次第デアリマス、併
シ以上申上ゲマシヤウナ財政援助ノ措置
ハ、其ノ結果ト致シマシテ、厖大ナ國
庫ノ債務ヲ招ク次第デアリマシテ、而
モ是等ノ債務ハ、其ノ性質上多クハ所
謂末必ノ債務ニ屬シマス關係上、其ノ
負擔額極メテ不明確ナ實情ニアリマ
スノデ、國家財政ノ現狀ニ顧ミマス時

ハ、是等ノ措置ハ速カニ之ヲ制限致シ
マシテ、今後ニ於ケル債務ノ累増ヲ防
止致シマスコトガ、戰後財政再建ノ途
上ニ於キマシテハ緊急ノ方途デアルト
存ズル次第デアリマス、又一面右ノヤ
ウナ財政援助ノ措置ハ、之ニ依リマシ
テ企業ヲシテ、動モスレバ公ノ保護ニ
依存セシメル弊ヲ生ジ、其ノ自主的ノ
活動ヲ弱メルコトナルコトモ否ミ難
イ事實デアリマス、隨テ今回ノ如キ措
置ヲ講ジマスコトハ、企業ノ合理的探
算ニ對スル自主的責任ヲ明カニ致シマ
スト共ニ、其ノ自主的活動ヲ促進スル
結果トモナリ、戰後經濟ノ民主的再建
ニ資スル所以デアルト存ズル次第デア
リマス、尙ホ本件ニ關シマシテハ、今
般聯合國最高司令官カラノ要求モ參ッ
テ居ル次第デアリマシテ、此ノ點カラ
モ之ヲ廢止又ハ制限ヲ致ス必要ガアル
ノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシ
テ、此ノ法律案ヲ提出致シマシタ次第
デアリマス、何卒御審議ノ上御賛成ヲ
願ヒタイト存ジマス

○河野政府委員 本法律案ノ内容ニ付
キマシテ、只今大臣カラ御説明申上ゲ
マシタコトデ大體盡キテ居ル譯デゴザ
イマスガ、多少立入ッテ御説明申上ゲ
マス、本法案ハ、只今御説明ニモアリ
マシタ通り、第一ノ目的ハ國家財政ノ
現狀ニ於キマシテ、不確定ノ債務ノ累
増ヲ制限スル、廢メルト云フコトガ第
一點デアリマス、第二點ノ目的ト致
シマシテハ、ソレニ依ッテ企業ノ自主
的活動ヲ促進シ、其ノ責任ニ於テ企業ノ
經營ヲヤリ、隨テ戰後經濟ノ民主的再

建ニ資スルト云フコトデゴザイマス、
此ノ二點ガ骨子トナリマシテ本法律案
ヲ立案致シタ次第デゴザイマス
先ヅ第一條ノ規定デゴザイマスガ、是
ハ此處ニモ書イテゴザイマス通り、會
社其ノ他ノ法人ハ、政府ノ所有シテ居
ル株式出資ト、政府以外ノ者ノ所有シテ
居ル株式、又ハ出資ニ對シテ、同一ノ條
件デ利益ノ配當或ハ剩餘金ノ分配ヲシ
ナケレバナラヌ、從來政府ガ株式持ッ
テ居リマス特殊會社ニ付キマシテハ、
大體劣後配當ト申シマシテ、利益金ガ
一定ノ割合ニ達スルマデハ政府ニ對シ
テ配當ヲスルヲ要シナシ、斯ウ云フ規
定ガ大體ノ特殊會社ノ規定ニアル譯デ
ゴザイマス、例ヘバ日本輸出農產物會
社法デ言ヒマス、此ノ十二條ニアリ
マスガ「日本輸出農產物株式會社ハ毎
營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金
額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂
込ミタル株金額ニ對シテ年百分ノ四ノ割
ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對
シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ」即
チ百分ノ四ニ一般ノ民間配當ガナリマ
スマデハ、政府ノ方ガ辭退スルト申シ
マスガ、シナクテモ宜シイト云フコト
デ、積極的ニ援助ヲヤツテ居タノデ
ゴザイマス、斯ウ云フヤウナ規定ナ
其ノ他東北興業株式會社法、或ハ日本
肥料株式會社法、或ハ帝國燃料株式會
社法、帝國鑛業開發株式會社法其ノ他
各種ノ特殊會社ニ其ノ例ガアル譯デ
ゴザイマス

ソレカラ第二條ノ規定ハ、配當補給
ノ規定デアリマシテ、其ノ會社ノ利益
ニ依リマシテ、一定ノ金額マデ配當ガ
出來ナイイト云ツタ場合ニハ、ソレニ達
スルマデノ金額ヲ國ノ方カラ補給シテ
ヤル、所謂配當補給ノ規定デゴザイマ
ス、是ハ會社ニ依ッテ色々違ヒマス
ガ、四分ノモノモゴザイマス、或ハ六
分ノモノモゴザイマス、會社ノ性質ニ
依ッテ各々違ヒマスガ、斯ウ云ツタヤ
ウナ規定ハ特殊會社ニ大體例トナツテ
居リマス、先程申上ゲマシタ法律ノ外
ニ、發送電デアリマス、或ハ帝國
石油、東亞海運、東拓、北支那開發ト
云ツタ會社ニ斯ウ云フヤウナ規定ガゴ
ザイマス、第二項ノ規定ハ、斯ウ云フヤ
ウナ補給金ノ交付ヲ受ケル會社ニ付キマ
シテハ、政府カラ特殊ノ補給金ヲ受ケ
ルノデアアルカラ、利益ガ出タ場合ニ於
テハ一定ノ金額ヲ必ズ積立テテ置カナ
ケレバナラナイ、即チ商法ニ所謂法定
積立金ノ外ニ、特別ノ積立金ヲコ、デ
各特殊會社法デ指定シテ居ル譯デゴザ
イマス、今回配當補給ノ規定ヲ廢メマ
スニ付キマシテ、斯ウ云フヤウナコト
ハ實際上必要ガナクナリマシタカラ、
之ヲ廢メルノガ第二項ノ規定デゴザイ
マス

ソレカラ第三條ハ、地方公共團體ニ
付テハ餘リ例ガゴザイマセヌガ、政府
ハ特殊會社ガ借入レル借入金ニ付キマ
シテ元利ノ保證ヲスル、或ハ社債ニ付
キ元本ノ償還、利息ニ付テ保證ヲスル
ト云フ規定モ、大概ノ特殊會社ニ從來
ゴザイマシタ、其ノ他豫算外契約ヲ以
テサウ云フヤウナ規定ヲ設ケテ居ルモ
ノモゴザイマス、公共團體ニ付テハ、

ニ依リマシテ、一定ノ金額マデ配當ガ
出來ナイイト云ツタ場合ニハ、ソレニ達
スルマデノ金額ヲ國ノ方カラ補給シテ
ヤル、所謂配當補給ノ規定デゴザイマ
ス、是ハ會社ニ依ッテ色々違ヒマス
ガ、四分ノモノモゴザイマス、或ハ六
分ノモノモゴザイマス、會社ノ性質ニ
依ッテ各々違ヒマスガ、斯ウ云ツタヤ
ウナ規定ハ特殊會社ニ大體例トナツテ
居リマス、先程申上ゲマシタ法律ノ外
ニ、發送電デアリマス、或ハ帝國
石油、東亞海運、東拓、北支那開發ト
云ツタ會社ニ斯ウ云フヤウナ規定ガゴ
ザイマス、第二項ノ規定ハ、斯ウ云フヤ
ウナ補給金ノ交付ヲ受ケル會社ニ付キマ
シテハ、政府カラ特殊ノ補給金ヲ受ケ
ルノデアアルカラ、利益ガ出タ場合ニ於
テハ一定ノ金額ヲ必ズ積立テテ置カナ
ケレバナラナイ、即チ商法ニ所謂法定
積立金ノ外ニ、特別ノ積立金ヲコ、デ
各特殊會社法デ指定シテ居ル譯デゴザ
イマス、今回配當補給ノ規定ヲ廢メマ
スニ付キマシテ、斯ウ云フヤウナコト
ハ實際上必要ガナクナリマシタカラ、
之ヲ廢メルノガ第二項ノ規定デゴザイ
マス

先程申上ゲマシタ通り餘リ例ハゴザイマセヌガ、例ハ中小商工業ノ金融損失補償ト云ツタヤウナモノニ付キマシテハ、國ガ一應保證致シマシテ、ソレカラ地方公共團體ハ更ニ金融機關ニ對シテ保證ヲスル、サウ云ツタヤウナ制度ヲ持ツテ居ル所モゴザイマス、斯ウ云フモノニ付キマシテハ今後保證ヲヤラナイト云フコトニ改メタ次第デアリマス、但シ大藏大臣ノ指定スル特殊ノモノニ付キマシテハ、或ル程度斯ウ云ツタ保證ノ制度ガ必要ナノデハナイカト考ヘマス、隨ヒマシテ但書ヲ置イタルデアリマス、例ハ復興金融庫ノ如キ、其ノ他特殊ノモノニ付キマシテハ、其ノ資金獲得其ノ他ノ狀況カラ考ヘマシテ、或ル程度ノモノヲ殘ス必要ガアルノデハナイカト考ヘマシテ、此ノ但書ヲ置イタル次第デアリマス

附則ノ點ハ是ハ公布ノ日カラ施行致スルデアリマスガ、第二條ノ配當補給ノ規定ニ付キマシテハ、昨年ノ四月一日以後ニ終了スル事業年度カラ之ヲヤラナイ、例ハ日本發達電氣デアリマス、帝國石油デアリマス、配當補給ノ義務ノ發生致シテ居ルモノガゴザイマスガ、是ハ十九年度マデデ一應打切ツテシマヒマシテ、二十年度ニ發生シタモノニ付テハ之ヲヤラナイ、隨ヒマシテ、今回ノ改定豫算ニ於キマシテハ、サウ云フモノガ計上シテナイ譯デゴザイマス、附則ノ第三項ノ規定ハ、第二條ノ第二項ノ特別ノ積立金ノ規定デアリマスガ、之ヲ廢メマス結果、從來積立テ置イタモノニ付キマシテモ、之ヲ一般ノ積立金ト同ジヤウニ使ツテ宜シイ、之ヲ其ノ儘從來ノ法律ノ規定ニ依ツテ持ツテ居ル必要ハナイ、一般ノ法定積立金同様ニ取扱ツテ

差支ヘナイ、斯ウ云フ趣旨ノ規定デゴザイマス、以上簡單デゴザイマスガ御説明致シマス

○坂東委員長 最初申上ゲマシタ順序ニ依リマシテ、改定豫算ニ關スル法律案ノ質疑ガアリマスナラバヤリマスガ、此ノ前ニハ、法律案ノ本體ニ付テハ質疑ハ相當シク致シマシタガ、新シイ人モ居リマスカラ、重複シナイ範圍内ニ於テ、質問ガアツタラ御願ヒ致シマス、御承知ノ通り改定豫算ニ關スル法律案ハ、是ガ先ニ通過シナケレバ豫算ガ本會議ヲ審議ガ出來ナイ譯ニナリマス、此ノ法律案ニ依ツテ豫算ガ成立スルノデアリマスカラ、先ニドウシテ決メナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、御含ミノ上デ、質疑ガアツタラ御願ヒシマス

○島田委員 此ノ委員會ニ、私、今日初メテ出マシタノデ、ダブラナイ積リデアリマスガ、極ク簡單ニ質問サセテ戴キマス、内容ニ付キマシテハ、今委員長ノ仰シヤツタヤウニ、此處デ中上ゲル限リデハゴザイマセヌガ、只今ノ日本ノ經濟情勢カラ見マシテモ、今度ノ豫算ノ編成ノ御苦心ハ能ク分リマスガ、今後ト致シマシテモ、色々變化ガアルト存ジマスノデ、又此ノ改定豫算ガモウ一遍改定スルヤウナコトガ、年内ニ起ルデハナイカト云フコトヲ豫想セラレマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテ大臣ノ御意見、御方針ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 此ノ改定豫算申シマスノハ、詰リ本當ナラバ、今マデノ制度ニ依リマスレバ、本年度ハ本當ノ豫算ガ成立シナカッタノデアリマスカラ、前年度ノ豫算ヲ其ノ儘實行スルト云フコトニナル譯デアリマス、所ガ前

年度ノ豫算ハ戰時中ノモノデ、今日ノ實行ハ出來マセヌノデ、特ニ本年度ハ改定豫算ト云フ名ノ下ニ、新シイ豫算ヲ編成シタ譯デアリマス、之ニハ義ニ御説明申上ゲタヤウニ、モウ既に使ツテシマヒマシタ、詰リ本年ノ四月一日カラ今日マデノモノヲ含メラレタ一ツノ豫算デアリマスカラ、之ヲ又改定スルト云フコトハ絕對ニナイ譯デアリマシテ、若シ今後更ニ費用ガ要ルトスレバ、是ハ新タニ追加豫算トシテ出テ來ル譯デアリマスカラ改定豫算ヲ改定スルト云フコトハアリマセヌ

○坂東委員長 一寸島田君ハ代ツテ來タノデアリマスカラ、私カラ申上ゲマスガ、此ノ改定豫算ニ關スル法律案デ、四月、五月、六月マデハ從來ノ去年ノ豫算ヲ直シタノデ、ソレヲ使ツテ居ルノデアリマシテ、七月、八月ハ追加デ出シテ決ツタノデアリマス、サウナツテ居リマスガ、ソレヲ引括メマシテ改定豫算ヲ作ツテ、其ノ中ニ今言ハレタヤウニ支出シタモノヲ支出シタト看做スト云フ、詰リ正常化スル意味ノ法律デアリマス、ソナナ順序ニナツテ居リマス——ドナタカ質疑ハゴザイマセヌカ——ソレデハ此ノ改定豫算ニ關スル法律案ハ質疑ガナイヤウデアリマスカラ、終了ト看做シテ宜シウゴザイマス

○異議ナシト呼ブ者アリ

○坂東委員長 ソレデハ改定豫算に關スル法律案ニ對スル質疑ハ是ヲ以テ終了致シマシタ、本日ハ是ヲ以テ散會シマシテ、次回ハ明後日午前十時カラヤルコトニ致シマス
午前十一時十三分散會